

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 中間評価書

計画の名称	28 尾張旭市における劣化した幹線道路の修繕による安全で快適な生活道路の整備			
計画の期間	平成23年度	～	平成27年度	(5年間)
計画の目標	交付対象		尾張旭市	

尾張旭市の幹線道路は、63路線、供用延長67.21km（車線延長123.46km）であり、名古屋市都心と東部丘陵地区（春日井市、瀬戸市、長久手町等）を結ぶ役割を担う路線が多くあるとともに、近い将来東海地震の発生が危惧される中、緊急輸送道路として指定されている重要な路線もあります。近年、貨物車の大型化などにより、舗装状態が急速に悪化しているなか、適切な予防保全を行うことが急務となっております。そこで平成22年度に策定した幹線道路補修計画により、市内の幹線道路の舗装を修繕し、安全・安心な道路ネットワークを確保することを目標とする。

計画の成果目標（定量的指標）	① 市民アンケートによる主要道路の満足度の向上 ② 舗装修繕の対策率の向上			
----------------	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
① 市民アンケートにより主要道路の満足度を調査する。 (主要道路の満足度) = (「満足」と答えた市民割合) + (「どちらかといえば満足」と答えた市民割合)	28%	31%	34%	
② 舗装修繕が必要な路線に対する対策率を算出する。 (舗装修繕の対策率) = (対策実施済み車線延長) / (舗装修繕が必要な車線延長 (MC14.0未満))	0%	8%	16%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	150百万円	A	150百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%
-------	------------	--------	---	--------	---	------	---	------	---------------------------	----

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
尾張旭市都市整備部土木管理課	平成27年度
	公表の方法
	尾張旭市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
28-A1-1	道路	一般	尾張旭市	直接	—	市町村道	修繕	(1) 稲葉本地ヶ原1号線	舗装補修 L=0.1km	尾張旭市						10	
28-A1-2	道路	一般	尾張旭市	直接	—	市町村道	修繕	(2) 城山新居1号線	舗装補修 L=0.5km	尾張旭市						36	
28-A1-3	道路	一般	尾張旭市	直接	—	市町村道	修繕	(他) 平子城前2号線	舗装補修 L=0.6km	尾張旭市						36	
28-A1-4	道路	一般	尾張旭市	直接	—	市町村道	修繕	(1) 巡検道線	舗装補修 L=0.5km	尾張旭市						13	
28-A1-5	道路	一般	尾張旭市	直接	—	市町村道	修繕	(1) 旭南線	舗装補修 L=1.3km	尾張旭市						31	
28-A1-6	道路	一般	尾張旭市	直接	—	市町村道	修繕	(1) 瀬戸新居線	舗装補修 L=0.6km	尾張旭市						24	
											合計	150					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
											合計		0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

2. 事業効果の発現状況

目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>市民アンケートにおける主要道路の満足度は、目標値の達成には至らなかったが、舗装修繕が必要な路線の対策率においては事業の進捗を図ったことにより、目標値を達成することができた。</p> <p>舗装修繕が完了した市内の重要な幹線道路において、路面状態を回復し道路利用者の安全・安心な道路ネットワークを確保した。</p>
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標① (市民アンケートによる 主要道路の満足度)	中間目標値	31%	目標値と実績値 に差が出た要因	<p>市民アンケートにおける主要道路の満足度が、23%と目標値の達成には至らなかったが、アンケートの指標において「普通」以上※1という回答の割合については、計画策定時の77.8%より0.7%向上し78.5%となり、主要道路における市民の不満度を軽減することができたと考えられる。</p> <p>※1「普通」以上とは、市民アンケートでの無回答を除く5段階評価で「1.満足」、「2.どちらかといえば満足」、「3.普通」、「4.どちらかといえば不満」、「5.不満」の内、「1.満足」、「2.どちらかといえば満足」、「3.普通」の合計</p>
		中間実績値	23%		
	指標② (舗装修繕の対策率)	中間目標値	8%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		中間実績値	12%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

3. 特記事項 (今後の方針等)

引き続き舗装修繕の対策をより一層推進し、市内の幹線道路の路面状態を回復することで、道路利用者の安全・安心な道路ネットワークを確保し、市民の主要道路の満足度が改善されるよう努める。

活力創出基盤整備

計画の名称	28 尾張旭市における劣化した幹線道路の修繕による安全で快適な生活道路の整備	交付対象	尾張旭市
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)		

